



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月10日

上場会社名 株式会社イントランス 上場取引所 東
 コード番号 3237 URL <http://www.intrance.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ディグネジオ・フレドリック・レッツ
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 北川 雅章 (TEL) 03-6803-8100
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	2,090	188.4	381	—	376	—	308	—
2021年3月期第2四半期	724	224.8	△380	—	△560	—	△561	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 304百万円 (— %) 2021年3月期第2四半期 △563百万円 (— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	8.33	—
2021年3月期第2四半期	△15.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	2,059	1,336	63.7
2021年3月期	2,911	1,033	34.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 1,312百万円 2021年3月期 1,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,469	110.0	270	—	262	—	205	—	5.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	37,131,000株	2021年3月期	37,131,000株
2022年3月期2Q	60,400株	2021年3月期	60,400株
2022年3月期2Q	37,070,600株	2021年3月期2Q	37,070,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの変異型ウイルスの出現等により、主要都市部では緊急事態宣言が継続し、まん延防止等重点措置等による社会活動や消費行動の制限から、企業業績や雇用などへの影響が強く懸念される状況が続いております。ワクチン接種が進む先進国においては、すでに行動制限の緩和などによる経済の回復傾向がみられており、わが国でも日々進捗しているワクチン接種の効果について、期待感が高まっているものの、依然、不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界では、低金利環境下での良好な資金調達環境を背景として、国内外の投資家による物件取得意欲は引き続き高い状況にあるものの、新型コロナウイルス感染症が社会環境やライフスタイルを一変させたことによる社会全体の不確実性の高まりから、意思決定に影響を及ぼし様子見する主体も多く、引き続き注視すべき状況が続いております。

また、現在、当社グループが力を入れるホテル市場におきましては、訪日外国人旅行者の渡航制限により、インバウンド旅行者は完全にストップした状態が続いており、頼みの国内需要に関しても自粛制限の影響は大きく、いまだ回復の見通しは立っていない状況であります。

このような状況下において、当社グループでは、投資対象とする不動産の潜在的価値を高めたうえで販売を行う「プリンシパルインベストメント事業」、物件ニーズに合った入居者管理を代行するプロパティマネジメントサービスと、不動産物件の賃貸・仲介業務及びホテル・宿泊施設等の運営支援等の事業を行う「ソリューション事業」、また、当社の連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデン（以下、大多喜ハーブガーデン）で同施設の運営、卸売を行う「その他事業」について、それぞれ注力してまいりました。

この結果、売上高は2,090,760千円（前年同四半期比188.4%増）、営業利益は381,941千円（前年同四半期は営業損失380,670千円）、経常利益は376,651千円（前年同四半期は経常損失560,574千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は308,802千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失561,620千円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

（プリンシパルインベストメント事業）

プリンシパルインベストメント事業につきましては、当第2四半期連結累計期間において、販売用不動産を2件売却したほか、売買契約締結済みの旭川及び茂原の販売用不動産について、棚卸資産評価損45,374千円を計上しております。

この結果、売上高は1,840,056千円（前年同四半期比311.5%増）、セグメント利益（営業利益）は533,653千円（前年同四半期は234,559千円の営業損失）となりました。

（ソリューション事業）

ソリューション事業につきましては、当第2四半期連結累計期間における和歌山マリーナシティの売却に伴い、賃貸事業における同施設の配当金収入及び賃料収入がなくなりました。また、新規の建物管理受託に引き続き取り組むと共に、新たな成長路線としてのホテル運営支援等のホテル関連事業の推進に注力いたしました。

この結果、売上高は145,168千円（前年同四半期比24.3%減）、セグメント損失（営業損失）は20,319千円（前年同四半期は8,714千円の営業損失）となりました。

（その他）

連結子会社の大多喜ハーブガーデンが運営するハーブガーデンにつきましては、コロナ禍にありながらも、近隣の観光施設としてお出かけ需要を取り込む施策が奏功し、緊急事態宣言の再々発出や、週末の天候不順などのマイナス要因がありながら、ハーブガーデン事業の売上高は順調に推移いたしました。一方、生産卸売事業に関しては、外食企業の休業や時短営業の影響等のほか、豪雨や高温等による収穫減が機会損失を招き、前年実績をさらに下回るなど、苦戦が続いております。

この結果、同事業の売上高は105,534千円（前年同四半期比22.8%増）、セグメント損失（営業損失）は2,536千円（前年同四半期は5,927千円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ850,056千円減少し2,026,928千円となりました。これは主として、保有物件の売却により販売用不動産が1,271,992千円減少したこと

等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ2,138千円減少し32,145千円となりました。これは主として、投資その他の資産が1,557千円減少したこと等によるものです。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ852,196千円減少し2,059,073千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ1,166,475千円減少し380,095千円となりました。これは主として、借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金が1,008,145千円減少したこと等によるものです。固定負債は前連結会計年度末に比べ11,431千円減少し342,253千円となりました。これは、長期借入金が11,845千円増加したこと等によるものです。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,155,043千円減少し722,349千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ302,848千円増加し、1,336,724千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月20日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	971,079	1,557,088
売掛金	40,621	30,911
販売用不動産	1,688,247	416,255
その他の棚卸資産	11,862	11,506
その他	165,173	11,165
流動資産合計	2,876,984	2,026,928
固定資産		
有形固定資産	6,181	5,969
無形固定資産	3,974	3,606
投資その他の資産		
投資その他の資産	208,622	206,250
貸倒引当金	△184,495	△183,680
投資その他の資産合計	24,127	22,570
固定資産合計	34,284	32,145
資産合計	2,911,269	2,059,073
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,047	5,482
前受金	191,715	—
1年内返済予定の長期借入金	1,068,070	59,925
リース債務	806	820
未払法人税等	7,253	82,418
賞与引当金	7,843	7,010
その他	264,833	224,438
流動負債合計	1,546,570	380,095
固定負債		
長期借入金	323,819	335,663
リース債務	3,753	3,339
その他	3,250	3,250
固定負債合計	330,822	342,253
負債合計	1,877,393	722,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,205	1,133,205
資本剰余金	903,204	903,204
利益剰余金	△1,029,312	△720,509
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	1,004,620	1,313,423
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,104	△784
その他の包括利益累計額合計	1,104	△784
新株予約権	26,172	24,085
非支配株主持分	1,978	—
純資産合計	1,033,875	1,336,724
負債純資産合計	2,911,269	2,059,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	724,897	2,090,760
売上原価	711,436	1,427,360
売上総利益	13,461	663,399
販売費及び一般管理費	394,132	281,457
営業利益又は営業損失(△)	△380,670	381,941
営業外収益		
受取利息	30	15
受取保険金	8	4,899
為替差益	—	2,914
その他	3,331	2,586
営業外収益合計	3,370	10,416
営業外費用		
支払利息	10,308	4,860
資金調達費用	3,253	2,613
契約解約損	168,215	—
和解金	—	8,232
その他	1,497	—
営業外費用合計	183,274	15,706
経常利益又は経常損失(△)	△560,574	376,651
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,000
特別利益合計	—	1,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△560,574	377,651
法人税等	1,503	70,827
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△562,078	306,824
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△457	△1,978
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△561,620	308,802

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△562,078	306,824
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△992	△1,889
その他の包括利益合計	△992	△1,889
四半期包括利益	△563,071	304,935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△562,613	306,913
非支配株主に係る四半期包括利益	△457	△1,978

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△560,574	377,651
減価償却費	611	1,047
新株予約権戻入益	—	△1,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△80	△815
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,876	△833
受取利息及び受取配当金	△30	△15
支払利息	10,308	4,860
資金調達費用	3,253	2,613
売上債権の増減額(△は増加)	△10,023	9,709
前渡金の増減額(△は増加)	67,176	△443
棚卸資産の増減額(△は増加)	552,913	1,272,348
前受金の増減額(△は減少)	1,169	—
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△6,748	△108,640
その他の資産の増減額(△は増加)	35,662	155,651
その他の負債の増減額(△は減少)	35,218	△108,562
その他	8,577	△687
小計	133,559	1,602,886
利息及び配当金の受取額	30	15
利息の支払額	△10,451	△6,028
保険金の受取額	8	4,899
和解金の支払額	—	△14,400
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	143,116	△4,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	266,262	1,583,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△385	△466
無形固定資産の取得による支出	△13,444	—
定期預金の払戻による収入	200,000	—
その他	△100	342
投資活動によるキャッシュ・フロー	186,069	△124
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	215,000	—
短期借入金の返済による支出	△489,406	—
長期借入れによる収入	210,000	70,000
長期借入金の返済による支出	△177,500	△1,066,300
リース債務の返済による支出	△386	△400
手数料の支払額	△3,253	△2,538
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245,546	△999,238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△479	2,172
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	206,305	586,009
現金及び現金同等物の期首残高	619,677	871,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	825,983	1,457,088

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、前連結会計年度まで連結貸借対照表の流動負債に表示していた「前受金」は、契約負債として流動負債の「その他」に含めて表示しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当第2四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	477,146	191,790	638,936	85,960	—	724,897
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	16,410	△16,410	—
計	447,146	191,790	638,936	102,370	△16,410	724,897
セグメント損失(△)	△234,559	△8,714	△243,274	5,927	△143,324	△380,670

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業及びハーブの生産事業であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△143,324千円には、セグメント間取引消去△16,410千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△126,914千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	1,840,056	112,192	1,952,249	105,534	—	2,057,784
その他の収益	—	32,975	32,975	—	—	32,975
外部顧客への売上高	1,840,056	145,168	1,985,225	105,534	—	2,090,760
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,000	3,000	—	△3,000	—
計	1,840,056	148,168	1,988,225	105,534	△3,000	2,090,760
セグメント利益又は損 失(△)	533,653	△20,319	513,333	△2,536	△128,855	381,941

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業及びハーブの生産事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△128,855千円には、セグメント間取引消去△3,000千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△125,855千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。